



秋の収穫体験

JAとうとでは、地域の子どもたちに食や農について体験を通じて深く学んでいただくための「食農教育活動」に取り組んでいます。

■地元小学生が稲刈り

各小学校の5年生児童が自分たちで植えた苗の稲刈りやハザ掛け、脱穀に挑戦。田植えから収穫まで貴重な米づくりを体験しました。



▲土岐小学校(瑞浪市土岐町)



▲稲津小学校(同稲津町)



▲駄知小学校(土岐市駄知町)

■地元園児たちのイモ掘り体験

子どもたちに収穫の喜びを知ってもらおうと食農教育と地域貢献の一環として行っているもので、地元5園の園児・保護者あわせて約250人を招いて多治見市内の畑でサツマイモの収穫体験を行いました。子どもたちは大きなサツマイモに悪戦苦闘しながらも、大人たちに助けをもらいながら力いっぱい引き抜いていき、大きなサツマイモを掘り起こすことができると、嬉しそうな笑顔をみせていました。



水稻栽培青空教室

高品質・多収量の米づくりのための青空教室を開催し、担い手農家など農業者の皆様に参加していただきました。

講師には県農林事務所の方を招いて、日照時間や高温への対応として水の管理、肥料や農薬の使い方、病虫害対策などについて説明していただき、実際の圃場の状況を見ながら情報交換しました。



野菜づくり塾開講

県農林事務所などの協力の下、「野菜づくり塾」を開講して、野菜栽培の基礎知識や土づくり、施肥、病虫害除去などを学んでいただきました。

1年を通してナス、ダイコンなど特定の野菜を実際に栽培し、種まきから収穫までの一連の流れを体験できますので、皆さまのご参加をお待ちしております。





ワークショップ 新本店の看板づくり

昨年11月、作陶施設「ボイスオブセラミック」(多治見市富士見町)で、新本店の看板に使うタイル制作のワークショップを開きました。新たな本店の顔となる看板は敷地の2カ所に設置する予定で、地域住民の手作りのタイルを飾ることで愛着を持ってもらおうと、このワークショップを企画しました。看板制作には親子ら約70組の方に参加いただき、誠にありがとうございました。2カ所の看板は高さ3メートルほどで、新本店オープンには看板制作に参加していただいた方々にお披露目する予定です。



▲はっぱサイン
(看板イメージ)



10月10日は「とうとの日」 日頃の感謝を込めて

当JAでは、令和7年度より、10月10日を「とうと(10.10)の日」と定め、組合員ならびに地域の皆さま方へ日頃の感謝を伝える活動に取り組む日としました。

昨年10月11日(土)、とうとの日初めての活動として、役職員約300人が営業エリアの多治見、土岐、瑞浪の3市に分かれ、歩道や公園、土岐川河川敷などでゴミ拾いや雑草除去などの清掃活動を行いました。

これからも、住みよいまちづくりを進めるとともに、地域の皆さま方のお役に立てるよう事業運営を進めてまいります。



職場体験

地元の小学生・中学生が当JAの店舗を訪れ、「JAのおしごと」を体験しました。

学校・家庭では体験できない緊張感や、他人とのコミュニケーションの大切さを学びました。



▲土岐口支店



▲小泉支店



▲笠原支店



▲根本支店



新本店・多治見支店 6月オープン

オープン日：令和8年6月29日(月)

建物・設備の老朽化への対応により建て替えを進めております当JA本店および多治見支店は、令和8年5月完成、6月開業を目指しています。

新店舗は国道248線沿いの旧多治見支店跡地に建設中で、1階に多治見支店・ローンセンター、2～4階部分に本店各部署を設置する4階建ての建物です。

工事期間中は地域の皆さま方には大変ご迷惑をおかけしますが、何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

また、新店舗オープンには皆さま方のご来店を心よりお待ちしております。



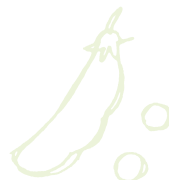
JAとうと年金友の会 ゴルフコンペ

令和7年9月26日(金)

可児市の富士カントリー可児ゴルフ場において、第15回JAとうと年金友の会ゴルフコンペを開催し、138名の会員の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

本会ゴルフコンペは会員相互のさらなる親睦と健康増進を目的に毎年開催しています。

なお、上位10名の方が県大会(JA岐阜信連主催)に出場されました。





子どもたちを見守る交通安全運動 学校より感謝状

令和7年の秋の交通安全運動に合わせ、児童たちの登校時に見守り活動を行いました。

期間中は当JA職員が通学路で地域ボランティアの方々と協力して交通安全指導などにあたりました。

当JAでは、児童たちを犯罪から守る「こどもみまもり隊JA110番」活動のほか、年間を通じて役職員・JA車両の事故ゼロ・違反ゼロを目指す取り組みを進めています。



▲感謝状を披露する職員
(精華小学校(多治見市)より)



投資詐欺の防止で感謝状

昨年11月、SNS型投資詐欺被害を未然に防いだとして、当JA陶支店と同支店の鵜飼さん、稲津支店の田中支店長に多治見警察署より感謝状が贈られました。

10月、現金の払い出しに訪れた男性が慌てていることを不審に思った鵜飼さんが、代理で勤務していた田中支店長に相談。振込先が不審だったこともあり通報し、駐在所員が駆けつけて説明し男性は帰宅されました。

当JAは今後も、お客様の財産を守るため細心の注意で業務に取り組めます。また、店頭で高額のお金をお引き出しの際はお声掛けさせていただく場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。



▲(左から)陶支店の奥村支店長、
支店長代理の鵜飼さん



▲稲津支店の田中支店長



職員の意識向上へ 各種研修会を開催

当JAでは、各階層別に様々な研修プログラムを企画し、職員の能力を高めるとともに地域の皆さま方に信頼される人材の育成に取り組んでいます。

窓口担当者マナー研修会には女性職員が参加し、身だしなみ、あいさつ、敬語の使い方、接客対応など、実践的なビジネスマナーを学びました。



新採用職員が 農業実践研修

当JAは、職員育成の一環として新採用職員を対象に、収穫した新米の出荷検査の立会いや袋詰めされた玄米の運搬などの農業実践研修を行っています。職員らは9月から10月にかけて、瑞浪市内の当JAライスセンターで1袋30kgに袋詰めされた玄米を生産者ごとに1つのパレットに並べる作業などを行い、先輩職員から検査の流れや道具の使い方などを教わりました。

